

1. 財政見込み

・市税総額は減少 △3.3 億円

個人市民税は横ばいとなったが、法人市民税は、一部国税化の影響で減額見込(△2.0 億円)、固定資産税、都市計画税は評価替えの年にあたることから減額(△1.3 億円)

・地方交付税などの国、県からの交付金 +2.9 億円

- ・地方消費税交付金は 7.5 億円の増の 24 億円を見込む。一方、地方交付税は地方消費税交付金の増額に伴い前年度比 2.2 億円減の 18.8 億円を見込む。
- ・臨時財政対策債は地方財政対策により前年度比 4 億円減の 18 億円を見込む。
- ・その他各種交付金も含めた総額としては、2.9 億円の増の 71.8 億円を見込む。

・経常経費は増加 +1.1 億円

・経常経費のうち、義務的経費(人件費、扶助費、公債費)は、社会保障関係経費が増加しているものの総合事務組合負担金や公債費が減少したことから義務的経費全体では 2.2 億円の減少となった。一方で、電気料など光熱水費や資材価格上昇等により、施設の維持管理経費等を含めた経常経費全体では 1.1 億円の増加となった。

・普通建設事業費は△17.6 億円、政策的な事業は選挙後に補正予算

- ・小中学校の耐震化・改修 21.0 億円 (前年度比 △2.3 億円)
- ・本庁舎の耐震改修 7.9 億円 (前年度比 +2.6 億円)
- ・志津公民館整備 6.9 億円 (前年度比 △3.9 億円)
- ・志津駅南口自転車駐車場耐震補強工事 0.6 億円 (前年度比 △0.1 億円)

・その他

- ・H27 年度当初予算では、財政調整基金からの繰入れは 11.2 億円を見込む。
- ・政策的な事業は、選挙後の補正予算で対応する予定。

2. 基本方針

・長期的な視野で財政運営を進め持続可能な財政を目指す

- ・中長期的な視点から財政基盤の強化を図り、持続可能な財政の確立を目指す。経常的経費のうち義務的(準義務的)経費は所要額を計上し、また通常一般経費は、部局ごとに要求上限額を設定し、歳出増は部局内で調整し抑制する。
- ・臨時的経費は、実施計画に計上された事業費を基本とし、国庫補助金などの財源の確保に努め、また、経費の積算においてもコスト削減に努め、一般財源の持ち出しは極力抑制する。

・骨格予算で編成。総合計画等で予定している施策は選挙後に補正予算

・4月に市長選挙が予定されていることから義務的経費や維持管理経費などの経常経費のほか、継続的に進めている小中学校や庁舎の耐震改修、志津公民館整備、防災対策等を計上。

3. 予算規模

・一般会計 450 億 5,400 万円 (△4.8%) 前年度比 22 億 9,000 万円の減額

・特別会計 347 億 5,357 万 2,000 円 (+10.8%) 前年度比 33 億 8,684 万 7,000 円の増額

- ・国民健康保険特別会計 215 億 6781 万 8000 円(+24.6 億円 12.9%)
- ・介護保険特別会計 114 億 1637 万 3000 円(+8.3 億円 7.8%)
- ・後期高齢者医療特別会計 17 億 3742 万円(+1 億円 6.1%)

4. 一般会計の主な事業

①議会・総務費関係 議会費 4 億 4000 万 7 千円、総務費 60 億 498 万 4 千円

マイナンバー制度への対応、国勢調査、統一地方選挙経費のほか、引き続き庁舎の耐震改修、自転車駐車場整備等を進める。

- ・本庁舎保全事業(7 億 9035 万 9 千円)・市庁舎の耐震工事等(継続事業分) (P.8)
- ・議員改選時事業(144 万 2 千円)・議員改選に伴い議会運営等に必要な経費を計上 (P.6)
- ・市長及び市議会議員選挙事業(9470 万 3 千円)・任期満了に伴う市長、市議会議員の選挙経費 (P.8)
- ・国勢調査事業(6191 万 9 千円)・・・5 年毎に実施する国勢調査に要する経費 (P.7)
- ・市営自転車駐車場整備事業(6134 万 5 千円) (P.8)

②民生費・衛生費関係 民生費 178 億 3674 万 8 千円、衛生費 41 億 7632 万 5 千円

高齢者福祉や子育て支援の充実を引き続き推進、新規事業として生活困窮者自立支援事業を実施。

- ・生活困窮者自立支援事業(3119 万 3 千円)・生活保護の前段階で支援し自立を促す。(P.10)
- ・家庭保育運営事業(5124 万円)・・・3 歳未満児を対象にした小規模保育事業を実施 (P.11)
- ・難病者等見舞金支給事業(4951 万 9 千円)・対象疾病の拡大に伴い制度を改正 (P.12)
- ・臨時福祉給付金支給事業(2 億 3127 万 5 千円)・給付金の支給により低所得者の負担軽減を図る (P.9)
- ・子育て世帯臨時特例給付金支給事業(9044 万 6 千円)・給付金の支給により子育て世帯の負担軽減を図る (P.12)

③農林水産業費・商工費関係 農林水産業費 3 億 7512 万 1 千円、商工費 3 億 7717 万 3 千円

地域経済の活性化や産業振興を進めるための取組みを進める。

- ・農林産業活性化事業(91 万 4 千円)・草ぶえの丘市民農園開設等印旛沼周辺地域の魅力づくり (P.13)
- ・企業誘致事業(1 億 2272 万 1 千円)・企業誘致を促進するため、助成金を交付 (P.14)
- ・観光イベント事業(5210 万 2 千円)・チュールップまつり、市民花火大会、産業まつり等の実施 (P.14)

④土木費・消防費関係 土木費 24 億 1920 万円 消防費 25 億 5310 万 5 千円

当初予算では道路維持補修や公園維持管理等経常的経費が中心。選ばれるまちづくりを進めるため基盤整備など将来に向けた取組みは選挙後補正予算で対応。

- ・幹線道路整備事業(2140 万円)・・・市道 I-43 号線道路改良の実施 (P.14)
- ・景観推進事業(1152 万 9 千円)・景観計画を策定し景観形成推進に取り組む (P.15)
- ・住生活基本計画策定事業(53 万 1 千円)・住生活推進検討会の開催、住環境の向上を図る (P.15)
- ・道路維持管理事業(1 億 9434 万 8 千円)・・・道路交通の安全や事故防止のための維持管理等
- ・公園施設維持管理事業(3 億 3331 万 6 千円)・・・安全安心で快適な公園環境を維持する
- ・街路樹維持管理事業(8555 万 3 千円)・・・安全で快適な道路環境を維持する
- ・佐倉市八街市酒々井町消防組合負担金(24 億 2517 万 8 千円)・消防組合への負担金

⑤教育費関係 教育費 75 億 3675 万 9 千円

継続事業である小中学校耐震化の推進、志津公民館等複合施設整備等を進めるとともに、インクルーシブ教育推進、キャリア教育事業などハード、ソフト両面での教育の充実。

- ・小学校施設改築・改造費(14 億 4457 万 5 千円)・下志津小など 9 校の改築及び耐震工事等 (P.15)
- ・中学校施設改築・改造費(7 億 1448 万 3 千円)・南部中校舎改築工事、臼井中体育館耐震補強工事等 (P.16)
- ・キャリア教育事業(15 万円)・・・模擬手術体験学習(ブラックジャックセミナー)の実施 (P.16)
- ・インクルーシブ教育推進モデル事業(1150 万 2 千円)・文科省のモデル事業指定を受け言語教育の充実を図る (P.16)
- ・志津公民館整備事業(6 億 9447 万 8 千円)・複合施設の改築工事 (P.17)
- ・佐倉・城下町 400 年記念事業(36 万 3 千円)・城下町 400 年を記念して礼法体験、ぶらり佐倉検定等実施 (P.18)
- ・小学校給食施設整備事業(1 億 4901 万 6 千円)・佐倉小学校給食室の大規模改修工事等 (P.17)